

平成 20 年 4 月 18 日

## 超臨界流体部会集会議事録

日時:平成 20 年 3 月 17 日(月) 18:30~20:30

場所:浜松名鉄ホテル(浜松市)

参加:55 名 内学生 1 人

佐古部会長、開会を宣言。以下の部会集会の議事進行は岡島による。

### 報告事項

#### 1. 平成 19 年度事業報告

- (1) 超臨界流体部会第 12 回部会集会(平成 19 年 3 月 19 日開催・京都ガーデンパレス)  
佐古部会長より、報告事項、審議事項について大まかな報告があった。
- (2) 超臨界流体部会第 6 回サマースクール(平成 19 年 7 月 30 日~31 日開催・熱海ニューフジヤホテル)  
岩井幹事より、参加人数、講演会の状況等について報告があった。
- (3) 第 39 回秋季大会シンポジウム(平成 19 年 9 月 13 日~15 日開催・北海道大学)  
滝島幹事より、シンポジウムの状況、基礎物性部会との共催であったこと、学生賞等について報告があった。
- (4) 超臨界流体部会第 13 回部会集会(平成 19 年 9 月 13 日開催・札幌チサンホテル)  
佐古部会長より、報告事項、審議事項について大まかな報告があった。
- (5) 化学工学<特集>化学工学年鑑 2007  
佐古部会長より、平成 19 年 10 月号の化学工学会誌に掲載されたことが報告された。
- (6) 超臨界流体部会活動成果集(ワーキンググループ活動報告書 No.5)  
佐古部会長より、平成 19 年 11 月に超臨界流体部会活動成果集(ワーキンググループ活動報告書 No.5)が部会員に発送されたことが報告された。
- (7) 教科書「新化学工学体系化」  
船造副部会長より、当初の発行予定よりも遅れており、現在編集作業中であることが報告された。
- (8) 超臨界流体部会/産総研 GIC 合同講演会(平成 19 年 10 月 29 日開催・仙台)  
鈴木副部会長より、平成 19 年度産学官交流事業の一環として実施したこと、講演会の状況等について報告があった。
- (9) 最近の化学工学 58 講習会(平成 19 年 12 月 4 日~5 日、早稲田大学)  
佐古部会長より、講習会の状況、収入等についての報告があった。
- (10) SUPERGREEN2007(The 5<sup>th</sup> International Symposium on Supercritical Fluids・平成 19 年 11 月 28 日~12 月 1 日・Seoul)

後藤幹事より、会議の内容、次回は日本で開催されること等について報告があった。

## 2. 受託調査報告

佐古部会長より、平成 19 年度は静岡大学工学部と東北大学大学院工学研究科から 2 件の調査研究の受託があったこと及びその内容と調査費収入について報告があった。

## 3. 平成 20 年度会員移動

佐古部会長より、平成 20 年 3 月 10 日現在の会員数とその内訳についての報告があった。またこの間特別個人会員の入会が多かったのは、最近の化学工学講習会への参加希望者による入会が多かったためであること等が説明された。

## 4. 平成 19 年度部会収支決算報告書、貸借対照表

岡島より内容説明、特に平成 19 年度から本部交付金と秋季大会還付金の収入の時期が変更になったことにより、それらの収入に関して昨年度と異なっていること等が説明された。その後栃木監事より監査結果について問題ないとの報告がなされた。

## 審議事項

### 5. 平成 20 年度活動計画

#### (1) 化学工学会第 73 年会(平成 20 年 3 月 17 日～19 日開催・静岡大学)

佐古部会長より、進行状況について報告があった。

#### (2) 第 7 回サマースクール

佐古部会長より、担当者として田村幹事にお願いすること、詳細については今後検討していくことが報告され、承認された。

#### (3) 化学工学会第 40 回秋季大会

オーガナイザーの鈴木副部会長より、秋季大会で開催するシンポジウムに関して、基礎物性部会と合同で開催すること、テーマ名は「超臨界流体技術の新展開」であるとの説明があり、承認された。

#### (4) 化学工学<特集>化学工学年鑑 2008

船造副部会長より、今回の執筆担当者についての提案があり、承認された。

#### (5) 超臨界流体部会活動成果集

山田副部会長より、各 WG のとりまとめ担当者と全体のスケジュールについて説明があり、承認された。

#### (6) 他の学協会との「超臨界流体技術」合同シンポジウム

鈴木副部会長より、現状と今後の取り組みについての説明があり、承認された。

## 6. 関連国際会議

### (1) Smith 幹事より、12<sup>th</sup>APCChE に関するアナウンスがあった。

(2) 栃木幹事より、第 11 回 EUROPEAN MEETING ON SUPERCRITICAL FLUIDS(スペイン)、Solvothormal、Green Solvent、AIChE に関する国際会議が開催される旨アナウンスがあった。

7. 超臨界分野の実験研究における安全指針策定

大島幹事より、安全指針策定の提案と検討項目等についての説明があり、了承した。

8. 平成 20 年度部会収支予算案

岡島より平成 20 年度の予算案に関する説明と、辻事務局員より補足説明があり、承認された。

9. その他

(1) 佐古部会長より、今回の幹事会から、乾幹事(国士館大)から吉田幹事(豊橋技科大)への交替に関する提案があり、承認された。

(2) 佐古部会長より、超臨界流体に関する研究分野での受賞について、会員より 9 件の報告があったこと、今後学生賞も対象にするとの説明があった。

報告、審議終了。懇親会が開催された。

懇親会中、新会員である佐藤正大氏(産総研)、川嶋文人氏(愛媛大学)、尾嶋康広氏(株エヌアイマテリアル)から自己紹介していただいた。

懇親会終了後、船造副部会長の挨拶で閉会。

以上